

自民党衆議院埼玉県第 3 選挙区（越谷市・草加市）支部長

きかわだひとし
イクメン実践記*多様な家族の子育て支援の重要性 黄川田仁志

特集 どうすれば子育てしやすい街になるのか？

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 14 号

※『きかステ』と呼んでください！

～イクメン実践記*多様な家族の子育て支援の重要性～

自由民主党埼玉県第三選挙区支部の黄川田仁志です。

私は、ただいま子育て真っ最中のイクメンです。昨年春に、長女が誕生し、日々成長する我が子を見ていると、親として責任をしっかりと果たさなければならないという強い思いと、地域や国にとって、子どもたちがいかに大切かを痛感しています。

我が家は、妻と長女の 3 人家族。妻は、東京の会社で、正社員として働いています。なので、長女は、既に越谷市内の保育園でお世話になっています。

実際に、子育てをしてみて、子どもには突然、色々なことが起きることに、右往左往するばかりです。突然、高熱が出たり、鼻血が出たり。そのたびに、私か妻が仕事の都合をつけ、保育園に迎えに行ったり、病院に連れて行ったり、自宅で付き添っていただければなりません。親としては当然ですし、仕事も何とかやりくりしていますが、これがなかなかどうして大変です。私の仕事は政治活動なので、とても不規則です。そのため、妻に子育ての負担をかけてしまうことが多く、大変申し訳なく思っています。世のお父さんたちも、私と同じように思っている人が多いのではないのでしょうか。

私が活動している越谷市、草加市は、共働きの世帯が大変多い地域です。しかも、埼玉都民と言われる程、東京に通勤されている方がたくさんいます。そのような環境で、突発的なことが色々起こる子育ては、昔とは違った苦労がたくさんあります。さらには、核家族よりも小さな家族、例えば、ひとり親家庭などでは、より困難な状況です。働かなくては食べていけない上に、家族が少ないので、子どもを迎えに行ってくれる人、付き添ってくれる人もいません。

親が、あまりにも子育てに四苦八苦してしまえば、その影響は子どもたちに現れます。そればかりか、親の心の歪みが、児童虐待などにもつながりかねません。

私は、保守政治家です。今までの保守であれば、子育ての問題は家族の問題であり、身内で何とかしなければならないと言うかもしれません。しかし、時代は変わりました。今や、女性もどんどん働く時代です。女性が働かないと、人口減少が続く日本で、国力が保てません。さらには、家族のかたちも多様化しました。両親がそろっている家族ばかりではありませんし、3 世代同居したくても、仕事の都合でできない家族もたくさんあります。出生率も低く、兄弟で面倒を見合える程、子沢山の家族もほとんどありません。

このような家族の状況を昔に戻すことは、容易でないし、非現実的です。それよりも、それぞれの家族環境で、ここを補えば、家族としての機能を果たすことができる部分を見定め、政治や行政が応援することが大切だと私は考えます。それこそ、現代日本に見合った新しい保守政治だと私は思います。このことを実現すれば、親やお年寄りを大切にすること、兄弟仲良くすること、お手伝いをきちんとすることなど、日本の良き家族のあり方が、継承されていくのではないのでしょうか。

夜中、疲れて自宅に戻り、すやすや眠る我が子の顔を見ていると、1 日の疲れもなぜか吹き飛び、明日から、また頑張らなくては！と、やる気が出ます。どんな家庭にある親でも、我が子は愛おしいもの。このような小さな幸せの積み重ねが、地域を、日本を元気にする源なのだと思います。私、黄川田仁志は、政治家として、子育て支援にしっかりと取り組んでいく所存です。



自立と誇りある
日本をつくります

どうすれば子育てしやすい街になるか？ ～国がやるべき子育て支援とは？～



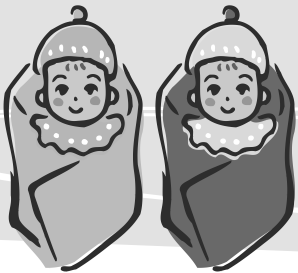
多様な家族環境の中で、何をすれば、子育てしやすい街になるのでしょうか？そして、国は、そのために、これから何をすべきなのでしょう？私、きかわだ ひとしは、現役イクメンの経験を基に、次のことに取り組みます。

女性が働くことを全力で支えます！



今や総世帯数の約3割が共働き世帯で、その割合は年々増加しています。若年層の雇用形態が多様化し、お父さんだけが働くことで、生活費をまかなえる時代は終わりつつあります。家計のためだけでなく、女性が働き手として、社会で活躍することは、人口減少が進む日本の経済発展にも大きく寄与します。これまでの日本は、様々な面で男性社会でした。女性の視点を積極的に取り入れることで、日本に新産業も生まれる可能性があります。女性の雇用促進、新分野への進出を後押しします。

保育環境の水準を高めます！



昨今、待機児童の増加により、各地域で認可保育園をはじめ、様々な保育施設が増設されました。埼玉県も、ほとんどの地域が、見かけ上は待機児童を減らすことに成功しています。しかし、急いで増設した結果、保育の質が低下しているとの声が上がりはじめています。大切な我が子を何時間もあずけるのですから、心配は無理ありません。親と離れている時間も、寂しくなく、家庭で過ごすときと同じような保育環境を提供できるよう、特に、保育士の増員・育成に力を入れなければなりません。

「地域らしさ」を活かせる子育て政策の実現！



家族が多様化している今、足りない家族機能を補うのが地域です。子育ては、当然、親が責任を持って行うものですが、私は、地域も同様に支える必要があると考えます。しかし、地域の特色は千差万別。高齢者の多い街もあれば、PTA活動が盛んな地域もあります。都会と田舎では、家族のあり方も違います。どのように子育て支援をするのかは、国ではなく、特色をつかんでいる地域で決定・実施されるべきです。そのために、地方分権にしっかり取り組み、人材と財源と権限を地域へ移します。

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大学卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線